

- ・北海ブレント先物 イギリスの北海のブレント油田を中心とする地域で産出される原油の先物取引価格
- ・ドバイ原油・オマーン原油のスポット価格： プラッツ社（エネルギー関係情報の主要な配信社）の発表するドバイ原油およびオマーン原油の価格で、アジア市場で流通する原油の大部分を中東産原油が占める状況で、その基準となっている

金：ニューヨーク金；ニューヨーク・マーカンタイル取引所で扱われる金の先物価格

非鉄金属：LME 価格：ロンドン金属取引所（LME：London Metal Exchange）は、世界最大規模の非鉄金属専門の先物取引所で、銅、鉛、スズ、亜鉛、アルミニウム、ニッケル、アルミ合金などが上場されている。

上記のような世界の指標価格に対し、各国でも市況価格が形成されている。日本では、東京商品取引所があり、貴金属、石油、農産物が上場されている。各国における価格は、指標価格に輸送費やその国の需給状況を反映させたプレミアムを上乗せしたものとなる。

また、日本国内では主要な金属について、メーカーが設定する標準取引価格の「建値」がある。例えば、銅では、LME の取引価格を基にメーカーが設定する「銅建値」がある。

### ■ 3-3 スポット価格と長期契約価格

---

市況品の価格には、スポット価格と長期契約価格がある。

スポット価格とは、一回ごとの取引で成立する市場価格で、取引されるものによっては、余剰品の価格設定とされている場合もある。

長期契約価格（ターム価格）は、おもに供給者と大口の需要者の間で、ある期間にわたって適用される価格で、供給者と需要者の先行きの需給見通しに基づき決定される。供給者の市場支配力が強い原料では、価格が硬直的になりがちである。

一般的に長期契約価格は安定しているが、スポット価格は、そのときどきの状況により、価格変動がある。また、スポット価格の方が、需給動向を敏感に反映することから、スポット価格の動向が、長期契約価格の先行指標となる。スポット価格の低下が、長期契約価格の低下への引き金になることもある。

長期価格は安定しているように思うが、スポット価格が低くなると、買い手から見ると長期価格による調達の高い価格で調達している感覚となり、市況の状況により、単純にいつも有利とはならない。

### ■ 3-4 現物市場と先物市場

---

市況品の価格には現物市場における価格と先物市場における価格がある。

現物価格とは、現実にある原料の市場で決定される価格である。一方、先物価格とは、先物市場で取引される価格のことである。